

インフルエンザ任意予防接種費助成のお知らせ

町では1歳から高校3年生（18歳相当）までの方に接種費用の助成を行います。

助成回数

- 1回目接種が1歳以上13歳未満 …2回(2回目の接種は1回目を接種した医療機関で接種してください。)
- 13歳以上高校3年生(18歳相当)…1回

実施期間

10月1日～令和2年1月31日の各医療機関の実施日(各医療機関で異なります。)

実施医療機関

小野沢整形外科(中学生以上のみ)、上富良野町立病院、渋江医院
いんやく小児科クリニック、富良野協会病院

※接種の予約は医療機関に直接お申し込みください。

助成制度

課税区分	町民税課税世帯	町民税非課税世帯 町民税所得割非課税世帯 生活保護世帯
自己負担額	1,300円 (2回接種の方は2回目無料)	無料
接種の手続き	事前に予約のうえ、母子手帳を医療機関に持参ください	接種日が決まったら、保健福祉課で下記の手続きが必要です。

『小児任意予防接種費助成対象証明書』を発行します。

証明書を予約した病院に提出することで、窓口での支払いはありません。

【受付場所】 保健福祉総合センターかみん内 保健福祉課健康推進班

【受付時間】 月～金 8時30分～17時15分

【持ち物】 母子手帳、印鑑

※世帯員以外の方が代理で申請する場合は、次の書類が必要です。

- ①申請者の印鑑 ②代理の方の本人確認できる書類 ③代理の方の印鑑
- ④課税状況を調べる事を申請者が代理の方に委任することを記したもの(任意書式)

● 実施医療機関以外の医療機関で接種する場合または

実施医療機関で『小児任意予防接種費助成対象証明書』を持たずに接種をした場合 ●

①接種後に医療機関で費用を支払ってください。

②必要書類をご持参のうえ、保健福祉課で償還払いの手続きを行ってください。

償還払いの対象は令和元年10月1日～令和2年1月31日の間に接種したものです。

【必要書類】 領収書、接種済証または母子手帳(接種の証明になるもの)、印鑑、
振込口座名・番号

※いずれの手続きにも、平成31年1月2日以降に上富良野町に転入された方は、前居住地での世帯全員の市町村民税非課税証明書または所得割非課税証明書が必要です。

★ お問い合わせ ★ 保健福祉課健康推進班 TEL 45-6987

上富良野町大町2丁目8番4号 保健福祉総合センターかみん内

*****課税状況が不明の方は下記の手順でも確認することができます。*****

ひとり親家庭等医療費受給者証を持っている。

Yes

No

受給者証左上に「親初」と記載されている。

親初		ひとり親家庭等医療費受給者証	
記号	1	2	7
番号			
住所			
給氏名			
者	男・女		
生年月日	年	月	日

町民税課税世帯ですが、**所得割非課税世帯**（均等割のみ課税）の場合もありますので、ご確認ください。

所得割非課税

次の方法で課税状況を確認してください。

1. 保健福祉課健康推進班窓口で『小児任意予防接種対象証明発行申請書』を記入。
2. 町で同一世帯員の町民税課税状況確認を確認する。

所得割課税

☆町民税非課税世帯、町民税所得割非課税☆

1歳から高校3年生(18歳相当)までのお子さんは、**無料**です。
表面を参考に保健福祉課健康推進班で助成の手続きをして、『小児任意予防接種助成対象証明書』を病院に提出してください。

☆町民税所得割課税世帯☆

1歳から高校3年生(18歳相当)までのお子さんは、**自己負担1,300円**です。
医療機関に接種の申し込みをしてください。

☆インフルエンザってどんな病気？

突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛やのどの痛み、鼻水などがみられ、高齢者や慢性疾患患者の方は、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することが多いです。流行は初冬から春先に多く、インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみをすることでウイルスが空气中に広がり、それを吸い込むことで感染します。

☆予防接種の効果

接種してから抵抗力がつくまで2～4週間かかり、効果は約5か月続きます。予防接種を受けてもインフルエンザにかかることがあります。予防接種を受けなかった人よりも重症化を防ぐことができます。流行前の12月中旬までの接種がよいでしょう。

☆受けることができない人

明らかに発熱のある人、じんましんや呼吸困難などのアナフィラキシーショックを起こしたことがある人、急性の病気で薬を飲んでいる人、インフルエンザの予防接種後2日以内に発熱またはアレルギー症状を起こしたことがある人。

☆医師と相談が必要な人

心臓病、腎臓病、肝臓病や血液など、慢性の病気で治療を受けている人、ニワトリの卵、肉などにアレルギーがある人は医師とよく相談しましょう。

☆副反応

注射の跡の発赤や腫れ、痛みが出ることがあります。また、発熱や悪寒、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、いずれも通常2～3日のうちに治ります。

非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などが現れることがあります。

☆接種の意思

十分な医師の説明を受けて本人（または保護者）が接種の判断をしてください。本人の身体状況や意思の確認ができない等により接種しなかった場合に、後日インフルエンザの発病等が発生しても、担当した医師にその責任を求めることはできません。

☆接種後の注意

予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがありますので、医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしましょう。

接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいません。入浴も差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。また、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

日頃から手洗いうがいを心がけ、風邪やインフルエンザを予防しましょう